



駒本の力

駒本小学校(家)
教育活動紹介便り
校長 田中 克昌
NO. 8
平成27年9月1日

丁寧で優しい言葉を遣おう

2学期が始まり、子どもたちは元気に登校してきました。始業式に子どもたちに話したことが、今回のタイトルの「丁寧で優しい言葉を遣おう」ということです。本校の教育目標は、「考える子、やさしい子、元気な子」です。その教育目標を2学期には、「丁寧で優しい言葉」を遣うことで、具体的な姿を求めていきます。この夏休みに、先生方はアサーションということについて勉強をしました。アサーションとは、自分も他人も、傷つかず、傷つけず、自分の思いや考えを伝えるコミュニケーションのスキルのことです。アサーティブコミュニケーションを省略してアサーションと言っています。

よく、ドラえもんの登場人物を例にして考えます。攻撃的で自分の意見を通そうとするタイプのジャイアン。おどおどして自分の意見が言えず、もんもんとしてしまう、のび太君。自分を大切にしながらも、相手も大切に自分の考えを伝えることができる、しずかちゃん。私たちのコミュニケーションは大きく分けるとこの3つのタイプに分けることができます。できれば日常的に、しずかちゃんのようなコミュニケーションがとれることが望ましいのですが、なかなかそうはいきません。それでは、どのようにしたらアサーションが身に付くのかということ研修したわけです。

子どもたちのコミュニケーションや言葉遣いをみると、単語だけであったり、相手を傷つけるような言葉を平気で言ったり、逆に自分の思いを伝えることができず、ストレスをため込んでいたり、大人や教員に対しても、いわゆる、ため口だったり、多くの課題があります。アサーションの基本として、まずは丁寧な言葉遣いを学校生活での基本にしていきたいと考えました。その上で、相手の心情を思い、優しい言葉が遣えるようになってほしいと願っています。言葉を発する前に相手にどのように伝わるのかを喉元で少しでも考えることができるようになってほしいのです。

国語での敬語の指導、日常の生活での指導、道徳の時間等を活用したアサーションプログラムの実施と、様々な形での指導を計画していますので、ご家庭でも意識的に指導していただけますようお願いいたします。

アサーションの詳しいことについては、道徳授業地区公開講座で保護者のみなさんにもお話しをしたいと思います。

アサーションとは？

自分の気持ち、考え、意見、相手への希望など相手に伝えたい場合、それをなるべく素直に正直に分かりやすく、しかもその場に合った適切な方法で言うことができる自己表現



- ・自分も相手も大切にする自己表現技法
- ・より良い人間関係を構築するためのコミュニケーションスキル

駒本スタイルで居ずまいを正した服装を

昨年度より本校では、始業式や終業式、連合音楽会、卒業式、入学式等の大切な学校行事の際には、「駒本スタイル」として、上を白のワイシャツやブラウスやポロシャツ等の襟のついた服装、下は紺か黒を基調としたズボンやスカートの着用をお願いしています。

駒本小学校では、居ずまいを正した挨拶の指導、「はい」「お願いします」「ありがとうございます」「ごめんなさい」の4つの言葉の指導、靴を靴箱にそろえて入れる「くつピタ」の指導と、小学生の内からTPOに応じた礼儀を身に付けてもらいたく様々な指導に取り組んでいます。この「駒本スタイル」もその一環であり、重要な式や行事では、服装も整えることの大切さを指導する良い機会となっています。7月の終業式、今日の始業式でも子どもたちは「駒本スタイル」で登校してくれました。礼儀正しさと共に駒本小を誇りに思う、高いプライドも「愛と熱と力の駒本」の一つであると思います。

魚沼移動教室

6年生の子どもたちは、移動教室として9月9日から12日までの三泊四日で新潟県の魚沼市、奥只見ダムのすぐ横にある「みどりの学園」という宿舎に行ってきます。初日は、奥只見ダムの特別見学を行います。二日目には、尾瀬に入りハイキングをします。三日目には飯盒炊さんでのカレー作りや、お米の貯蔵施設などの見学をします。四日目には、マレットゴルフをします。また、それぞれの夜には楽しい活動が予定されています。このように東京を離れて、三泊四日の貴重な経験を通して、6年生の子どもたちは多くのことを学びます。今の子どもたちに大切なことは、体験活動を通して学ぶことです。座学や本からだけでなく、ある課題を解決するために、体験的な活動を通して問題解決に当たることです。そのためには、事前の学習もしていきます。きっと様々な体験を通して、たくさんの力を身に付けて帰ってくるものと期待しています。校長としては、密かにそして大いに期待しているのは、チーム力を発揮する飯盒炊さんと夜に行う表現活動（演芸大会）です。

言葉は、心のかがみ

言葉遣いの大切さを教える言葉として、「言葉は、心のかがみ」という言葉を紹介し、ます。その人の言葉は、その人の心の状態を表すということです。心がおだやかで機嫌がいいときの言葉と、イライラしていてストレスがたまっているときの言葉では、まったく違ってきます。この言葉の意味は、人は心のもちようによって言葉の質が変わる。だからこそ、自分の言葉をチェックすることが大切であり、丁寧な言葉を遣うことで、心さえもコントロールすることができるというのが真の意味です。また、聞く側も相手の言葉の状態、相手の心の状態を理解し、対応を適切にとることができるのです。そう思うだけで、ずいぶん対応に変化がでるのではないのでしょうか。言葉というのは本当に大切なものなんですね。